

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-I-13

4-I-13

章 節	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	外国人観光客の受入環境整備
	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	13 案内サイン等の多言語化	事業主体	佐渡市観光振興課
		関連団体	県交通政策課、佐渡地域振興局(企画振興部、地域整備部)、佐渡市交通政策課、佐渡市建設課、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○案内サイン等の多言語化により外国人観光客の受入環境整備を図る。	
	【事業内容】	○公共施設、佐渡汽船ターミナル等公共交通機関施設における案内サインについて多言語化を進める。	
30 事業計画と実績	【30年度計画】	●国際交流員等から公共交通機関施設の案内サインの現地確認や、港からガイドランス施設までの導線確認を行い、改善が必要な場合は施設へ改善案を提案する。	
	【30年度実績】	●海外メディア等案内時に、案内サインの現地確認、助言を求め、得られた助言を各施設に伝え、各施設で順次対応する見込みである。	
課題・今後の取組	【課題】	■表示する言語の種類について協議・検討が必要である。	
	【今後の取組】	■見易さを優先した表示について検討する。 ■指差しシートの活用も検討する。	
事業評価	【事業の達成度】	◇当初計画どおり実施したことからBとした。 [a (b) ・ c]	
	【事業実施の効果】	[a (b) ・ c]	
	【総合評価】	[A (B) ・ C]	

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。